



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月31日

上場会社名 スーパーバッグ株式会社  
 コード番号 3945 URL <http://www.superbag.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 福田晴明  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 吉田精一

TEL 04-2938-1244

四半期報告書提出予定日 平成27年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	8,238	△0.4	△62	—	△48	—	△48	—
27年3月期第1四半期	8,267	△0.7	△145	—	△179	—	△127	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 20百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 △72百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	△3.20	—
27年3月期第1四半期	△8.33	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	17,913	3,775	20.5
27年3月期	18,287	3,847	20.4

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 3,666百万円 27年3月期 3,729百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	6.00	6.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,000	1.8	120	—	150	—	90	—	5.88
通期	37,000	4.8	330	—	330	—	200	78.6	13.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	16,861,544 株	27年3月期	16,861,544 株
28年3月期1Q	1,554,697 株	27年3月期	1,554,050 株
28年3月期1Q	15,307,223 株	27年3月期1Q	15,311,250 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成27年4月1日～平成27年6月30日）におけるわが国経済は、政府による経済政策や日本銀行による金融政策を背景に、大企業や輸出関連企業を中心に企業収益の改善が見られ、引き続き緩やかな回復基調で推移しておりますが、ギリシャの債務問題を発端とする欧州情勢や中国の景気減速による景気下振れリスクなどもあり、先行きについては不透明な状況が続いております。

一方当社グループを取り巻く経営環境は、円安傾向の継続によるエネルギーコストや輸入品仕入価格の上昇に加えて原材料価格の上昇高止まりもあり、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は8,238百万円（前年同四半期比0.4%減）、営業損失62百万円（前年同四半期は営業損失145百万円）、経常損失48百万円（前年同四半期は経常損失179百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失48百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失127百万円）となりました。

セグメントの業績の概況は次のとおりであります。

なお、各セグメントのセグメント損益（営業損益）は、8ページ「セグメント情報等」に記載のとおり、各セグメントに配分していない全社費用177百万円を配分する前の金額であります。

#### 「紙製品事業」

紙製品事業につきましては、主力の角底袋や手提袋の販売数量の増加などにより、売上高は前年同四半期に比べ99百万円増加して3,052百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は原材料価格の上昇により生産利益が減少、加えて円安による輸入品の仕入価格の上昇もあり、これらに対する売価修正の遅れから粗利益額が減少、販売管理費も横ばいとなり、前年同四半期に比べ48百万円減少して72百万円となりました。

#### 「化成品事業」

化成品事業につきましては、主力のレジ袋の販売数量減少などにより、売上高は前年同四半期に比べ5百万円減少して3,488百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は原材料価格および仕入価格の低下により粗利益額が増加、販売管理費の削減もあり、前年同四半期に比べ70百万円増加して32百万円となりました。

#### 「その他事業」

その他事業につきましては、S・V・S（スーパーバッグ・ベンダー・システム）を主たる事業として展開しておりますが、レジ用紙や梱包用品の減少などから、売上高は前年同四半期に比べ123百万円減少して1,697百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は売上高減少も仕入商品の利益率改善により粗利益額が増加、売上高の減少に伴い販売管理費も減少し、前年同四半期に比べ4百万円増加して9百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ374百万円減少して17,913百万円となりました。流動資産は、たな卸資産が280百万円増加した一方、現金及び預金が131百万円減少、受取手形及び売掛金が474百万円減少、電子記録債権が170百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ454百万円減少の11,874百万円となりました。固定資産は、設備投資等により47百万円増加、投資有価証券の時価評価差額が131百万円増加した一方、有形固定資産の減価償却費87百万円などにより減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ80百万円増加の6,039百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ302百万円減少して14,138百万円となりました。これは、未払金が154百万円増加、短期借入金及び長期借入金が185百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が559百万円減少、役員退職慰労引当金が124百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ71百万円減少して3,775百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が89百万円増加した一方、剰余金の配当で91百万円減少、親会社株主に帰属する四半期純損失計上により48百万円減少したことなどによるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の20.4%から20.5%になりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、平成27年5月14日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び  
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)  
等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差  
額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更  
いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の  
確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させ  
る方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の  
変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度につい  
ては、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び  
事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時  
点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,705	1,574
受取手形及び売掛金	5,661	5,187
電子記録債権	1,101	930
商品及び製品	2,364	2,609
仕掛品	353	370
原材料及び貯蔵品	532	551
繰延税金資産	111	152
その他	500	501
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	12,328	11,874
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,473	6,498
減価償却累計額	△5,077	△5,107
建物及び構築物(純額)	1,396	1,391
機械装置及び運搬具	10,775	10,777
減価償却累計額	△9,894	△9,929
機械装置及び運搬具(純額)	880	848
土地	1,123	1,123
リース資産	412	409
減価償却累計額	△92	△98
リース資産(純額)	320	311
建設仮勘定	23	35
その他	833	834
減価償却累計額	△781	△784
その他(純額)	51	49
有形固定資産合計	3,797	3,758
無形固定資産		
電話加入権	15	15
リース資産	1	1
その他	49	47
無形固定資産合計	67	64
投資その他の資産		
投資有価証券	1,563	1,701
破産更生債権等	7	8
事業保険金	82	82
差入保証金	256	257
退職給付に係る資産	71	71
繰延税金資産	125	107
その他	5	5
貸倒引当金	△17	△18
投資その他の資産合計	2,094	2,215
固定資産合計	5,958	6,039
資産合計	18,287	17,913

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,988	5,428
電子記録債務	1,919	1,888
短期借入金	1,833	2,648
リース債務	45	45
未払金	452	607
未払法人税等	9	15
未払消費税等	163	48
賞与引当金	188	312
設備関係支払手形	0	25
設備関係電子記録債務	14	6
設備関係未払金	8	1
その他	136	132
流動負債合計	10,760	11,159
固定負債		
長期借入金	2,528	1,899
リース債務	297	286
繰延税金負債	-	66
役員退職慰労引当金	178	53
環境対策引当金	4	4
退職給付に係る負債	671	668
固定負債合計	3,680	2,978
負債合計	14,440	14,138
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,374	1,374
資本剰余金	1,450	1,450
利益剰余金	891	750
自己株式	△258	△258
株主資本合計	3,458	3,317
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	276	366
繰延ヘッジ損益	15	△1
為替換算調整勘定	97	97
退職給付に係る調整累計額	△118	△112
その他の包括利益累計額合計	271	348
非支配株主持分	117	109
純資産合計	3,847	3,775
負債純資産合計	18,287	17,913

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	8,267	8,238
売上原価	7,148	7,050
売上総利益	1,118	1,187
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	592	598
給料及び手当	376	347
賞与引当金繰入額	51	59
退職給付費用	24	17
賃借料	44	45
旅費及び交通費	26	24
その他の経費	147	157
販売費及び一般管理費合計	1,263	1,250
営業損失(△)	△145	△62
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	9	11
貸倒引当金戻入額	1	0
持分法による投資利益	8	7
為替差益	-	36
受取賃貸料	7	7
作業くず売却益	1	1
雑収入	9	4
営業外収益合計	38	69
営業外費用		
支払利息	24	23
為替差損	6	-
貸倒引当金繰入額	0	-
役員退職慰労金	34	24
その他	6	7
営業外費用合計	72	55
経常損失(△)	△179	△48
特別利益		
固定資産受贈益	3	-
投資有価証券売却益	-	0
特別利益合計	3	0
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△176	△48
法人税、住民税及び事業税	7	10
法人税等調整額	△51	△1
法人税等合計	△43	8
四半期純損失(△)	△132	△57
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4	△8
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△127	△48

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純損失(△)	△132	△57
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	47	89
繰延ヘッジ損益	△3	△16
為替換算調整勘定	△22	△2
退職給付に係る調整額	38	6
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	1
その他の包括利益合計	59	77
四半期包括利益	△72	20
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△64	28
非支配株主に係る四半期包括利益	△8	△8

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	紙製品事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,952	3,494	1,820	8,267	—	8,267
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,952	3,494	1,820	8,267	—	8,267
セグメント利益又は損失(△)	121	△37	4	88	△233	△145

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△233百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	紙製品事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,052	3,488	1,697	8,238	—	8,238
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,052	3,488	1,697	8,238	—	8,238
セグメント利益又は損失(△)	72	32	9	114	△177	△62

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△177百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。